

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	グループ・ホーム春桜 3F	評価実施年月日	平成20年8月1日
評価実施構成員氏名	鈴木 知子 ・ 森山 三用喜 ・ 高橋 光美		
記録者氏名	高橋 光美	記録年月日	平成20年8月10日

北海道

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>開所時より その人らしく生きる理念を 掲げています</p>		<p>地域の中にあって その人らしく生活できるよう、外出などを工夫しています</p>
<p>○理念の共有と日々の取組み</p> <p>2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>常に理念を念頭に置き、実践に向けて 日々取り組んでいます</p>		<p>見やすい場所に理念の書かれた用紙を掲げ、利用者にもわかりやすくし スタッフは理念の書かれたカードを常に携帯しております</p>
<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>	<p>理念を理解していただけるように工夫し取り組んでいます</p>		<p>パンフレットはもとより 家族や地域に発行している「春桜だより」にも理念を載せ 理解されるよう努めています</p>
2. 地域との支えあい			
<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>隣近所の方々との日常的な挨拶を交わしています</p>		<p>前庭は常に開放されており 誰でも気軽にくつろいだり、遊んだり出来るようベンチを置くなどの工夫をしています</p>
<p>○地域とのつきあい</p> <p>5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>事業所の経営者が自ら、町内会の行事に参加し 交流に努めています</p>	○	<p>ホーム職員も町内会の行事に参加する予定です</p>
<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議において 町内会会長や民生委員の方々に町内で役に立てること、出来ることはないかをお聞きしながら取り組もうとしています</p>	○	<p>町内会の方々の意見をお聞きしながら実施する予定です</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	外部評価を活かし、改善点は速やかに改善するよう 努めています		前回の要改善事項は全て改善しています
8 ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	ホームでの生活の様子を 委員の方へ説明し、理解を得ています		町内の多くの方々にグループ・ホームを理解していただく見学会を行い参加していただいています
9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	地域包括支援センターの方が隔月の運営推進会議に出席はされていますが、それ以外の交流はなかなか、難しいのが現状です	○	今後は会議以外の場面においても、協働し、サービスの質の向上につなげていきたい
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	・権利擁護に関する研修会に積極的に参加し成年後見制度について学んでいる ・ホームの入り口に 内容について掲示している		各研修会に参加し学んでいます
11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	北海道が開催している「身体拘束廃止推進委員研修会」に参加し 学び 虐待のないホームにしています		利用者の身体状態のチェック(特に入浴時)し 記録にし、特変があれば家族に報告している
4. 理念を実践するための体制			
12 ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	十分な説明を行ったうえで契約し 家族の理解、納得を図っています		重要事項説明書に沿って説明し 同意のサインをいただいています

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>13 ○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営規定の中に項目を設け説明しており不満や苦情を受け入れる体制を作っています</p>		<p>運営推進委員会への参加をしていただき外部者への表せる機会を設けています</p>
<p>14 ○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。</p>	<p>ホーム全体としての おたよりやユニット毎のおたよりで個々に合わせた報告をしています</p>		<p>「春桜便り」「春桜メール」など</p>
<p>15 ○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営推進会議の中で 家族の代表者から意見を受けています</p>	○	<p>家族会の発足を予定しています</p>
<p>16 ○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>カンファレンス・リーダー会議・春桜運営会議で出された意見や提案を聞き反映させています</p>	○	<p>花壇作りや行事など 意見を反映させたい</p>
<p>17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。</p>	<p>利用者の心身の重度化や危険の可能性がある場合はスピーデイに勤務を調整して対応しています</p>		<p>二人夜勤や時間外勤務にて対応しています</p>
<p>18 ○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p>	<p>管理者と計画作成担当者2名はオープン時より変わらず、各階の職員配置・正職員の増加やパート職員の賃金の値上げ等努力しています</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	新人オリエンテーションを始め、経験や勤務年数に応じて 法人内外の研修を受ける機会を確保し実践している		
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	同じ地域のグループ・ホームの管理者会議やケアマネージャーの会議に積極的に参加しネットワーク作りをしています		厚別区のグループ・ホームが相互に職員見学会を行い交流を深めました
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	休憩場所と時間を確保し、ストレスを軽減する環境を作っている。又 悩み事を気軽に話せるように工夫している		各階のカンファレンスの中で仕事に関する悩みや不具合を出してもらっています
22 ○向上心をもって働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。	各自が自ら資格を取る意識が強いので研修や講座受講に関して、休日と勤務時間の工夫をしています	○	勤務予定が出てからの受講予定を出されることが多いので、受けたい人が受講できないこともあるので もっと工夫が必要
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23 ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	ホームの見学をゆっくりしていただき、その後お茶を飲みながら なるべく多くの本音の気持ちを聞く機会をもっています		本人が興味を持てば、利用者の方々とアクティビティにも参加していただいています
24 ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	入居相談、ホーム内見学、判定見学・契約時説明等と状況に合わせて3~4回は家族等から よく聴く機会を作り努力をしています		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	デイケアやショートステイ、老人ホーム等 本人と家族の状況や希望に合わせて対応を行っています		グループ・ホームへのショートステイ利用を勧めています
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	入居前に必ず本人を ホームに招いて 相互の意思を確認するようにしています		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	一人ひとりに会った対応を心がけ、まずは傾聴に徹し、本人の意思や希望を確実にとらえる努力をしています。その中から喜怒哀楽を共にし、学びを得ています		日常生活の中の話から、昔の生活方法がどうであったのかの話、方言、など等、洗濯物を一緒にたたみながら、笑いながら、時間を共有しています。世話をする、されるではなく、本当の家族のような関係を大切にしています
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	家族の方が訪問したときには 必ず声掛けをし、ホームでの様子を報告しています。又、家族の悩みや意見を聴き 職員と一緒に支えていくよう努めています		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	アセスメントは家族の協力を得ながら行い 本人と家族の関係の理解に努めています。又 本人の日々の会話の中からも 様々な情報を得るようにしている		本人の悩み事や相談事等も、家族と共有し、本人により良いケアが提供できるようにしており、そうすることにより、以前は距離のあった家族が、理解し合える関係になれることも ありました
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	本人の希望がある場合には、馴染みの人や場所との関係を繋ぐよう、支援に努めている		馴染みの人に訪問していただいたり、混乱がない場合には 希望の場所へ行けるように支援しています

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	申し送りや記録の中から利用者同士の関係を把握し、食卓の位置や、くつろぎの場所を作っています。一人ひとりが孤立しないように スタッフの座る位置にも工夫しています		利用者同士の人間関係については、ある程度本人たちに任せておりますが、状態を見ながら、スタッフも介入しております
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	入院先の病院へのお見舞い等をおこなっています		病院や道で会うこともあります、最近の様子を聞いたり世間話をしたりと 良い関係を継続しています
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	毎日の記録やアセスメントを利用し、本人の意向の把握につとめています。傾聴を基本として、本人の希望にできるだけ近いケアプランを検討しています		ケアプラン作成にあたっては、実際に本人と細かく話し合い作成しているケースもあります
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	家族からの情報や本人との何気ない会話等により生活歴や今までの暮らし方等を把握するようにつとめています	○	家族でも同居されていない場合には、ほとんど情報が得られないので、今後の課題かと思われます
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するよう努めている。	一人ひとりの生活記録とバイタルチェック表等のデータから現状を総合的に把握するよう努めています		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	ケアカンファレンス(月2回)の実施と本人や家族の希望を記録し それぞれの意見、アイデアについて よく話し合いプラン作成に取り組んでいます		ケアマネージャーは研修等に参加し、常に本人の側に立ったケアのありかたについて、学んでいます

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	カンファレンスの中では 常に利用者の変化に応じ、プランの見直しを行い現状に即したプランの作成を行っている		
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	一人一枚の実際記録を毎日記入しており、毎日の申し送りやカンファレンスの中で情報を共有しており、ケアプランの見直し等に反映しています		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	内科・歯科の受診、リハビリからの助言等、本人や家族の希望に合わせて柔軟な支援をしています		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○ 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	地域の小学校行事への参加、展示会への見学等、地域資源と協働しています		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	グループ・ホームは介護保険内でのほかのサービスを利用できませんが、ベッドのリースやデイケアへの見学などしています		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	地域包括支援センターとの協働をしている事例はありません	○	今後必要に応じて協働してゆきたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	ホーム長が看護師の為、気軽に相談でき 日常の健康管理や医療活用の支援をしています		母体の病院の外来看護師にも気軽に相談し支援しています
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	母体の病院のかかりつけ医や提携している精神科病院等の専門医に受診し、診断や治療が受けられるよう支援しています		
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	管理者が看護師の為、気軽に相談しながら支援しています		「特変用紙」という記録の形式を取り、日々の健康状態や受診の記録を取りまとめ、受診等にも役立てています
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	母体の病院や提携病院と協働し入退院がスムーズに行えるようにしています		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	入所時より本人、家族からの希望を聞き 話し合いを行っています。又、重度化のできるだけ早い段階から かかりつけ医と相談し 本人や家族とも話し合っています		
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	利用者の心身の状態変化はすみやかに家族に報告し、かかりつけ医と共にチームとしての支援に取り組んでいます		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49 ○住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	入居時には、できるだけ 本人の慣れ親しんだ物を持ち込んでいただいています。入居されてしばらくは本人の生活ペースを重視して対応しています		入居時には、ご家族の協力も得て、寂しくならないよう、電話の対応をするなどしています
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	スタッフ一人ひとりに声掛けや対応の仕方について教育しています。又、利用者の個人的な訴えがある場合には個室で話を聞き、他者に聞かれないように配慮しています。記録についても徹底管理をしております		
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	本人が希望を言い出しやすいような声掛け、対応の工夫、環境作りを心がけるようにしています。常にスタッフには 利用者の意思をさえぎるような話しかけはしないよう、何事も本人が選択できる方向性を促せる対応が出来るよう指導しています		
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	本人の生活ペースを重視し、出来るだけ希望に沿った日々の暮らしを尊重しています		行事への参加、入浴希望、個人個室における消灯時間等は出来るかぎり本人の希望や今までの生活暦に合わせています
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	衣類の購入等は、本人と共に外出し、本人の好みに応じて行っております。理美容についても希望があれば 行きつけの店に行く等の支援をしています		お化粧品に関しても、それぞれに合った対応をしています。毛染めなども、希望通りおこなっています
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。	一人ひとりの好みを日々のメニューに活かしつつ、食事への対応をしています。それぞれのやる気や能力に応じて 食事の準備や後片付けを行ってもらっています		テーブル拭き、トレイ運び、食器拭き、タオルたたみ、お茶入れ、下膳、盛り付け等、細かく作業を分けて 個々に応じて行ってもらっています

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	日々、個々の好みを把握しつつ、状況に応じて対応しています		おやつに関しては、そのとき食べたいものがあればすぐに対応しています。誕生日にはその方が希望されるメニューをメインにしています
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	誘導方法や声掛けの工夫をしながら、個々の状況に合わせた対応をしています		
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	週2回以上の入浴を勧めています。本人の状態や希望に合わせて対応しています。浴室に花を飾る等して、入浴中も楽しく過せるよう工夫しています		
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	個々の生活ペースに沿った支援を心掛け、対応しています。季節に合った室温の調節や一人ひとりに合わせた寝具の工夫等、しています		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	ユニット内では各自、自ら進んで役割りを確保されており、その行動がスムーズに行えるようにスタッフが個々にあわせて支援しています		
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	一人ひとりの能力に応じて、お金の所持に関しては自由にしています。混乱されている方に関しては家族と相談して対応しています。買い物の希望があればスタッフも同行して、お店の方との間に入り、本人が買い物を楽しめるよう援助しています		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	毎日の散歩、外出等は 本人の希望を聞きスタッフ、家族と協力して行っております		ホームの中だけではどうしても閉塞感が出てしまうので、利用者の状態に応じ、町内を散歩しつつ、町内の様々な庭の花を楽しんだりしています。また、本人が希望する外出に関しては、ご家族とよく話し合い、なるべく希望に添うよう 援助しています
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	遠出への外出支援は年に数回取り組んでいます。利用者自身が個人的に遠出を希望されている場合にはご家族にも協力していただいております		桜見学、紅葉見学のほかに、動物園や記念館へ 大型バスを利用して出かけています。
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	常に利用者の希望にに沿って 対応しています		年賀状などは、希望に添って対応しています。病院のほうにポストがあるので一緒に投函しに行くこともあります
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	友人、知人、ご家族が気軽に訪問し、くつろげるように支援しています。笑顔での挨拶、おもてなしの心を大切に いつでも気軽に来られる雰囲気作りも工夫しています		
(4) 安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	スタッフ全員が身体拘束の身体的な行為を理解できるよう、日々、指導し拘束のないケアに取り組んでいます		
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	スタッフ全員が鍵を掛けることへの弊害を理解しており、日中は施錠しておりません。各居室に関しては、利用者の自由としております。		個人的に常時、施錠をしている方もいらっしゃるの で スタッフは災害に備え常にマスターキーを持っています

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	ハード面では利用者の所在や様子を、把握できる設計になっており、安全に配慮しています。また、スタッフも常に利用者の所在を確認しながら、業務にあたっています		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	刃物、針、等については一人ひとりの状態に応じて、個別対応しています		台所の刃物については、鍵のかかる引き出しに保管。スタッフの使用する刃物(はさみ、カッター)についても管理を徹底しております
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	なるべく、インシデント、アクシデントが発生しないように、日々のケアに関してはスタッフ一人ひとりに注意・指導を行っています。また、発生した場合については、適切な事故処理を行い、カンファレンスの場で事故防止の対策について話し合っています		
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	応急手当の初期対応マニュアルは見やすいところに掲示しており、特変時の対応についても常にスタッフ一人ひとりがシミュレーションを行いいつでも対応できるよう指導しています		
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	年2回、避難訓練を行い、職員は災害時どのような対応をするのかを把握してもらっています。また火災時には、母体病院との連携をとる体制になっています	○	地域との連携については、まだ体制が整っていないので 運営推進会議の中で話し合っていきたい
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	カ・プラン説明時やご家族の来訪時に、今後起こりうるリスク及び対応について説明している		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	排泄・食事・飲水量のチェック、バイタルチェック等日々記録し、変化があればすみやかに対応しています。また報告、連絡の徹底を図り、全てのスタッフがその特変に対応できるようにしています。		スタッフは常にどんな場合でも、利用者の状態をみており、細やかなチェックをしつつ、業務にあたっています。そのとき得られる情報は、かならず申し送られ、スタッフ全員が共有しています
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	一人ひとりの薬の基本情報を記録と共にファイリングしており、常にスタッフは把握しているようにしています		
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	水分摂取を多く取る工夫やヨーグルト、牛乳の活用、繊維質の食物の使用等を行い、運動を進めたりもしているが、それでも困難などときには医師へ相談している		
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎食後の歯磨きに関しては、声掛け、介助、誘導を行っています。本人、家族の希望やそのときの状態によって 都度、歯科受診に行っています		母体病院に歯科があり、口腔指導を受けることができます
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	常に食事量、水分量を記録すると共に、メニュー作りにも工夫している		一日の栄養バランスを取れるよう、一応一週間分のメニューを出しますが、利用者の希望があれば臨機応変に変更することも可能です。ただしたんに変更するのではなく、全体を考えて一人ひとりの状況も踏まえて変更します
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウィルス等)	各感染症に関しては予防対応のマニュアルがあり、内容の把握と共に実行しています		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	調理用具の消毒、食材の管理についてのマニュアルを実行している。また日々注意を促している		基本的に大部分の食材の保管期間は1週間以内としています。またまな板、スポンジ、等については 毎日消毒を義務付けております
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	ホーム前は全面的に花壇を設け、たくさんの花や作物を植えて、楽しめるようにしている。ベンチやテーブルを置いて、寛ぎの場となっています		玄関は段差をなくし、スロープ、手すりを設置、出入りがスムーズになっています
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共用の空間に関しては、緑や花をおいたり、思い出の写真を飾る等、楽しめる空間を作っています。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	玄関ホール、廊下、ワーク・スペースにもイスを置き、寛げる空間作りをしています		
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	本人やご家族と相談しながら、使い慣れたものや、好みのもの、思い出の品等、持ってきていただき 自分らしい、落ち着く空間作りをサポートし 居心地の良い時間が過せるよう支援しています		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	温度計、湿度計のチェックを行い、利用者の状況に応じて換気や温度調節を行っています		夏場、西向き居室の温度が上がりすぎるので、熱中症に特に気をつけています

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)	
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>車椅子、歩行器が自由に行き来できるスペースを確保できる作りになっており、各スペースに手すりの設置。身障用の洗面所、トイレも設けられており、一人ひとりの身体機能に応じて自立できる環境になっています</p>	○	<p>入浴時、浴槽が深すぎたり、洗い場が狭いなど、浴室に関してはもう少し工夫が必要と思われる</p>
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>一人ひとりの現状を把握し、混乱しないで行動できたり、思考したり出来るような声掛け、介助に努め、本人の自立を促すようにしている</p>		<p>トイレにハートマークでわかりやすく表示したり、声掛けのタイミングを図ったりモデリングを行うなどしています</p>
87	<p>○建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>花畑を楽しめるテーブルやイスを設置、自由に散歩したり、季節を感じる事が出来るようにしています</p>		

V. サービスの成果に関する項目			
項目		取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ●①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない 	アセスメント記録申し送り等からスタッフ全員で各利用者の思い等を共有している。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<ul style="list-style-type: none"> ●①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない 	お茶の時間、食事の時間以外にも一人ひとりの利用者との向き合い、お話や歌を楽しむなどの場面があり、その時間を大切にしています
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<ul style="list-style-type: none"> ●①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない 	一人ひとりが個々の生活ペースを持っていますので 常にそのペースを尊重しています
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<ul style="list-style-type: none"> ●①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない 	明るい笑顔、話し声、態度等からその姿が見受けられると思います
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<ul style="list-style-type: none"> ●①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない 	本人の希望に関しては、全て対応できるように努めています。ご家族とも協力しています
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<ul style="list-style-type: none"> ●①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない 	定期受診はもとより、特変時にはすばやく対応できる体制をとっております。安全面においては、IHキッチン・スプリングクーラーの設置、消防への通報装置の設備もあります
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<ul style="list-style-type: none"> ●①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない 	スタッフ全員が各利用者の日々の状況を把握しているため、その時々発生する要望等に関しては、各利用者の前後の状態をも想定したうえで柔軟に対応しています
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<ul style="list-style-type: none"> ●①ほぼ全ての家族 ②家族の2/3くらい ③家族の1/3くらい ④ほとんどできていない 	ご家族からの相談事については 傾聴した上で答えるかぎりにおいて、対応させていただいています。また、相談事についても、別記録に記入し 各スタッフが共有した上で 同一対応が取れる体制作りをしており、ご家族が安心して利用者を預け、信頼していただけるよう努めています

V. サービスの成果に関する項目		
項目		取り組みの成果
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<p>①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ●③たまに ④ほとんどない</p> <p>通所リハビリの方が訪問されます</p>
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	<p>①大いに増えている ●②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない</p> <p>町内会長さんや民生委員の方を通して 事務所の理解者が増えています</p>
98	職員は、生き生きと働いている	<p>●①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> <p>職員の人数を十分に確保し、休憩時間や場所の配慮を行い ストレスがたまらないようにしています</p>
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<p>●①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> <p>利用者の明るい表情や落ち着いた生活の様子からみて、おおむね満足していると思います</p>
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<p>●①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> <p>家族の方々は世話をしてもらっているという気持ちから、なかなか不満をいえないのかも知れません。その点も十分配慮しながら日々、家族の方々へ細かな報告をしています</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

- (日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)
- ・グループ・ホームとしては、かなり広い空間が広がっているのが特色です。歩行器や車椅子にも楽に対応できます。
 - ・病院と通路でつながっているので、利用者の特変にも、すぐ対応できます。
 - ・職員が皆明るく、利用者との会話では、笑い声が絶えません。勢いと元気さがあふれています。